



宗
般
不
審
條
之
宗
祇

伊地知文庫
文庫20
166



字收不審者

一 此の御書にてもふふりし事なるは、
 一 ともかくも大丹の御書にても、
 一 此の御書にても、
 一 大丹の御書にても、
 一 此の御書にても、

一 此の御書にても、
 一 此の御書にても、

一 此の御書にても、
 一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

一 此の御書にても、

○ 能く姓 名好娘 名好と云ふは 俗に云ふ事

一 おるに 惣ていふ 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事

○ 俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事

○ 俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事

○ 俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

○ 俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

○ 俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事

○ 俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事 俗に云ふ事 俗に云ふ事

俗に云ふ事

只いせと申し申すや位をいしよきや
る新こき

① 仙のころも平たなぬくぬくありて無くと云は
② 田を返にいと無き無と申すう向のに市は
ぬありしやまてりてあり

③ 物にさちあひのころ指 まとふはまを之指し
うらむよし

④ 花のころと申すころはうらむとて無に他新こき

① 花のみのころはうらむころし

② あたまのころしと数ふとて無とて始り
うらむ

③ すいとちのころはうらむとて無とて無とて
うらむ

④ 花のころはうらむとて無とて無とて無とて
うらむ

⑤ 花のころはうらむとて無とて無とて無とて
うらむ

・ 夕とくらさくらも 物のさくらさくらも

とていふらむのさくらさくら

・ 今も昔もさくらさくらも 花のさくらさくらも

とていふらむのさくらさくら

・ さくらさくらさくらさくらと 今も昔もさくらさくら

とていふらむのさくらさくら

・ 今も昔もさくらさくらと 今も昔もさくらさくら

とていふらむのさくらさくら

・ さくらさくらさくらさくらと 今も昔もさくらさくら

とていふらむのさくらさくら

・ さくらさくらさくらさくらと 今も昔もさくらさくら

とていふらむのさくらさくら

・ さくらさくらさくらさくらと 今も昔もさくらさくら

とていふらむのさくらさくら

・ さくらさくらさくらさくらと 今も昔もさくらさくら

とていふらむのさくらさくら

とていふらむのさくらさくら

接吻のしるし

二つの中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

接吻

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

一、二つの中をわきまをうける （横） 中をわきまをうける

本

夕暮とあつちの月の人よれぬ女はねお福の
とて

行舟 有るはるは 舟のりて 舟のりて 舟のりて
舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて
舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて
一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて
一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて
一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて 舟のりて

一 一いつうは 上座多きかふ

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

一

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

一

① 一いつうは 家政つるをせしむるに

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

② 一いつうは 家政つるをせしむるに

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

③ 一いつうは 家政つるをせしむるに

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

一 一いつうは 家政つるをせしむるに

④ 一いつうは 家政つるをせしむるに

① 夕方の御事。おきかたの夕の外也

② 夕方の御事。おきかたの夕の外也

③ 夕方の御事。おきかたの夕の外也

④ 夕方の御事。おきかたの夕の外也

⑤ 夕方の御事。おきかたの夕の外也

⑥ 夕方の御事。おきかたの夕の外也

⑦ 夕方の御事。おきかたの夕の外也

⑧ 夕方の御事。おきかたの夕の外也

⑨ 夕方の御事。おきかたの夕の外也

夕の外也

夕の外也

夕の外也

夕の外也

夕の外也

夕の外也

夕の外也

夕の外也

夕の外也

あるにまへてのちのまへにむらむれば
北のつらん ちんちんちんちんちん

一 ちんちんのちんちんのちんちんちんちん
清いしんちんちんちん ちんちんちんちん

ちんちんのちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん
ちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 ちんちんちんちんちんちんちんちん

一 乳の唇と斗とてさるる母の心もたいてし
一 あせりのあふる子に成るる心
一 市調にあふる子に成るる心
一 市調にあふる子に成るる心

一 都立のあふる子に成るる心
七ひひ

一 都立のあふる子に成るる心
一 月夜のあふる子に成るる心

よみの秋のあふる子に成るる心
いつる秋のあふる子に成るる心

一 あふる子に成るる心
一 あふる子に成るる心
一 あふる子に成るる心

一 あふる子に成るる心
何秋のあふる子に成るる心

一 あふる子に成るる心
一 あふる子に成るる心

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

183

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

180

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes.



